

平成 30 年 2 月 14 日

## 関係各位

日本実装技術振興協会  
高密度実装技術部会  
部会長 嶋田 勇三

### 第 195 回高密度実装技術部会 定例会のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、高密度実装技術部会の第 195 回定例会の内容が決まりましたのでお知らせいたします。  
多忙の中恐縮でございますが、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

Facebook

(<https://www.facebook.com/%E9%AB%98%E5%AF%86%E5%BA%A6%E5%AE%9F%E8%A3%85%E6%8A%80%E8%A1%93%E9%83%A8%E4%BC%9A-938695649492729/>)でも同定例会の情報を配信しております。

敬具

#### 記

1. 開催日時 : 平成 31 年 3 月 14 日 (木) 定例会 13:00~17:20(受付 12:45~)  
技術交流会 17:30~19:00

2. 開催場所 : 川崎市産業振興会館 ホール(1F)  
川崎市幸区堀川町 66-20 <https://www.kawasaki-net.ne.jp/kaikan/access.html>  
JR 線「川崎駅」・京急線「京急川崎駅」下車 徒歩 8 分

3. プログラム : “ 自動運転を支える技術 ”

13:00~13:50	『カーエレクトロニクスを支える半導体実装技術』 (株)デンソー センサ&セミコンダクタ実装開発部 実装基盤開発室長 今井 博和 氏 講演内容:車載半導体の特長、およびそれを支える実装技術や基盤技術(分析/解析技術、CAE 技術)について、具体事例を交えながら同社の取り組みについて紹介する。
13:50~14:40	『自動運転技術における高精度慣性センシング』 セイコーエプソン(株)MSM 推進プロジェクト 部長 今井 信行 氏 講演内容:自動運転技術において、車両状態 PVA((:Position・Velocity・Attitude)計測には 3 次元慣性センシングには IMU が重要な役割を担う。加速度 3 軸・Gyro3 軸からなる IMU の高精度センシング技術と、先行する農機・建機系や、今後実用化が進む自動車領域等の応用事例について紹介する。
14:40~15:30	『Technology portfolio of printed circuit board for automotive application』 Unimicron Technology Corp. R&D Division PCB Director 陳 慶盛(チエン チンシエン) 氏 講演内容: 1.Product classification and technology portfolio 2.High speed and high frequency requirement 3.Thermal and current solution 4.Diversified and optimized construction 5.Alternative final finishes
15:30~15:40	— 休憩 —
15:40~16:30	『次世代自動車向けセンサに対する村田製作所の取り組みについて』 (株)村田製作所 センサ事業部 事業部長 川島 誠氏 講演内容:自動車の電動化や自動運転が進むなか、あらゆる電気系統の熱制御や車の状態の正確な検知が必要とされている。今まで以上に高精度、高信頼性が求められるセンサにおいて、同社の最新の自動車向けセンサの特長を紹介する。

16:30~17:20	<p>『自動運転センサの主役、車載カメラの技術・市場動向』</p> <p style="text-align: right;">共創企画 代表 中條 博則 氏</p> <p>講演内容: ADAS・自動運転技術では、廉価、扱い易さ、小型、高解像度、省電力などの面からカメラがセンサの主役の座を得ており、さらなる市場規模拡大が確実である。とはいえ、自動運転車はIoTの一製品に過ぎない。カメラ機能を含む Sensing 技術・Viewing 技術・システム構築の成果は、今後本格化が進むIoT全般に広く波及するものである。本講演では、ADAS・自動運転など車載用カメラを取り巻く環境の変化、そして車載カメラの市場・技術動向、そしてその流れがIoT本格化にどのように貢献できるのか解説する。</p>
17:30~19:00	- 技術交流会 -

6. 参加費: **会員は3名まで無料** (この場合は**高密度実装技術部会の会員**が対象になります。)  
**会員外の参加は、¥22,000/人**(当日会場にて徴収、領収書をご用意いたします。)

追記: ご出欠については同送致しましたご出欠連絡用紙にて、E-mail もしくは FAX にて**平成 31 年 3 月 7 日(木)迄**にご連絡をお願いします。またご不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さいますようお願い致します。

事務局: 日本実装技術振興協会 担当/相良(サガラ)・太田  
〒335-0021 埼玉県戸田市新曽 45 「高密度実装技術部会」事務局  
携帯: 090-5403-1147(相良)、090-5301-9467(太田) / FAX 048-443-4204  
E-mail: [jjisso.org@gmail.com](mailto:jjisso.org@gmail.com) URL: <http://www.j-jisso.org/index.html>

日本実装技術振興協会 FAX:048-443-4204  
事務局担当/稲見 好美 行  
E-mail: [jjisso.org@gmail.com](mailto:jjisso.org@gmail.com)

**高密度実装技術部会**  
**第195回定例会 出欠用紙**

**【平成31年 3月14日(木)開催】**

**定例会           ご出席       ・       ご欠席**  
**技術交流会       ご出席       ・       ご欠席**

御社名	
-----	--

※ご出席される方のみ、下記をお書き下さい。

部署名	
参加者名	
	TEL: e-mail:
参加者名	
	TEL: e-mail:
参加者名	
	TEL: e-mail:

※当日会場で名簿の配布を予定しております。名前の公開してもよろしいでしょうか？  
(       可       ・       不可       )

※下記、アンケートにご協力ください。

ご興味あるテーマ	
今後取り上げてほしいテーマ・講演者等。 連絡事項。	